

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2023 VOL.530

07



A-Policy【重点事業方針】

生産販売部 販売流通企画課の取組み 生産販売部 営業課の取組み

A-Reports

- ・令和5年度 長野県青果物・花き取引会議…………… 03
- ・新幹線でシャクヤクを輸送 出荷当日店頭…………… 04
- ・JAタウンアワード2022 全農長野がショップアワード1位…………… 04
- ・ファミリーマートでコラボ商品「カットレタス」を販売…………… 05
- ・出羽海部屋が木曽合宿 県産農畜産物を贈呈…………… 05
- ・(株)サラダクラブで長野県産レタス出荷最盛期に合わせて「カットレタス」増量企画を実施…………… 06
- ・「JA農機&資材フェスタ2023」4年ぶりに開催…………… 07

A-Board

- ・「第53回信州フラワーション サマーセレクション」のご案内…………… 08
- ・長野県産野菜ときのごアンケートキャンペーン第2弾…………… 08
- ・新採用職員紹介…………… 09
- ・JA全農長野の事業現況…………… 10
- ・今月のおすすめレシピ…………… 10
- ・7月のラジオ番組表…………… 10
- ・編集後記…………… 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

生産販売部

生産販売部 販売流通企画課の取組み



長野駅ホーム掲示ボード

1. 物流改善および集荷所・共選所運用対策に取り組みます。

(1) 2024年問題を目前に控え「運べないリスク」回避にむけて、選択肢の精査・提案を行い効率的な輸送による販売対応を進めます。

(2) 遠隔地輸送のモーダルシフト推進や荷役改善・運行時間抑制に向けパレット化による効率的な物流体制への取り組みを進めるとともに施設整備を推進します。

(3) 日常業務等の見直しによる効率的な出荷対応の促進を図ります。

2. 生産販売業務のデジタル戦略を推進します。

(1) 青果物荷販売管理システム（仮称）の開発を進め業務効率化と集積したデータを生産販売に活用し、JAとの事業連携による本県系統販売力の強化を図ります。

(2) 県本部業務をさらに高度化・DX化を進める為に、職員の意見を反映するとともに、業務・意識改革に取り

組みます。

3. 農産物に関わる総合的消費宣伝・商品開発・付加価値販売に取り組みます。

(1) 「JA全農長野」、「三ツ山マーク」、「信州力（しんしゅうりき）」の商標を活用し、本県系統組織イメージの高揚と、産地内の系統結集効果を高める事業を展開します。

(2) 系統生産販売事業の持続的発展に向け、食育や花育事業に取り組みます。

(3) 県産青果物の消費拡大・系統集荷に寄与する商品開発や価値観を高めた商品開発に取り組みます。



フリーズドライ商品（一例）



果実コンポート（ワッサー、白桃）



果実コンポート（りんご三兄弟®）

生産販売部

生産販売部営業課の取組み

令和4年度販売経過

J A 全農長野営業課では、量販店や生協だけでなく、加工・業務用実需者、カタログギフトなど様々な業態の取引先に、直接長野県農産物の販売を行っています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残る中ではありましたが、本県産農産物のPR、販売拡大につながる取り組みを積極的に企画しました。量販店においては、店頭での試食を伴わない推奨販売や売り場コンテストの実施により、消費者への長野県産農産物の訴求力アップを進めました。加工・業務用実需者との取引では、カットサラダ増量企画の実施やキムチ製品購入者へのプレゼント企画を実施し原料供給量の拡大につなげました。

対面による商談も再開し、取引先との意思疎通を図るとともに積極的な営業販売を進めてきました。令和4年度売上供給高は、136.6億円（前年対比99%）となりました。

令和5年度の重点取組み事項

1. 生産者手取りの最大化に向けた営業・販売力の強化

- (1) 積極的営業展開により既存重点顧客および帳合先との関係を強化し、総合品目供給に向けた取引量および取引品目の拡充を図り、事業計画160億円の達成にむけ営業力を一層強化します。
- (2) 既存の流通ルートに拘らず新規優良顧客の開拓を行い、産地および取引先のメリットを創出します。
- (3) 実需者への安定供給のため、市場流通も含めた多様な供給ルートを検討します。
- (4) 需要変化や多様化する小売形態へ対応するため、実需者要望を的確に把握し、柔軟かつスピーディーな業務推進および販売促進活動を行います。
- (5) 産地に対する直販流通への理解促進を図り集荷力を強化し、顧客要請に応じられる商品供給力を高めます。

2. 商品開発力・提案力強化による販売拡大

- (1) 既存委託取引先との連携強化による、産地パッケージ商品を新規創出します。
- (2) 県産加工製品の開発に伴い、商流・帳合機能を発揮します。

3. マーケティング情報に基づく生産販売提案の取り組み強化

- (1) 県本部内にも情報共有（連携）を図り、J A 対応含めより円滑な取引の実践と営業推進を行います。
- (2) 営業活動により得られた情報に基づき、新規品目・新規規格・商品企画の提案と供給ルートを開発します。
- (3) 生産振興部ならびに関係部署と連携し、需要に応じた品目の生産振興と産地発信による品目提案を進め、産地開発と商品提案力を強化します。

4. 集出荷・輸送・荷降の効率化、生産コスト上昇対策

- (1) 直販青果物輸送における課題に対し、取引先への要請を含め改善対策を進めます。

5. 債権管理の徹底

- (1) 請求・精算、代金回収まで一連の業務を担う課であることの認識をもち、債権管理を徹底し営業推進を展開します。
- (2) 調整保管・配送機能等を具備する取引先と連携し、輸送効率化に向けた研究・実践を行います。
- (3) 生産コスト抑制に向けたリパック品等のアイテム整理や容器の効率化、適正化を研究実践します。

令和5年度事業計画

単位：千円、%

大品目	令和5年度計画	令和4年度実績	実績対比
直販果実	2,630,000	2,594,618	101
直販野菜	5,670,000	4,730,623	120
直販きのこ	5,020,000	4,413,877	113
直販花き	150,000	103,062	145
(直販合計)	13,470,000	11,921,287	113
加工製品	300,000	195,407	153
全農青果C	2,660,000	2,110,336	126
直販その他	20,000	6,513	300
分量振替	▲450,000	▲498,437	90
合計	16,000,000	13,658,000	117

令和5年度 長野県青果物・花き取引会議

J A全農長野生産販売部は6月2日(金)、長野市内で長野県青果物・花き取引会議を開催しました(Ⅱ表紙上)。

県内外の青果・花きの主要卸売会社23社の代表、長野県から関昇一郎副知事、小林茂樹農政部長ほか農政部関係者、全農長野の神農佳人運営委員会会長、千國茂副会長、鳥田武司県本部長、県内J A組合長など、76名が出席しました。

この会議は、長野県産農産物・花きブランドの販売強化による農家手取りの向上および卸売会社との強いパートナーシップを構築するため、例年出荷が本格化するこの時期に開催しています。新型コロナウイルス感染症の拡大以降、昨年度まではリモートや規模縮小での開催でしたが、今年は4年ぶりに全国から代表卸売会社を招いて盛大に開催しました。

神農会長は主催者挨拶の中で「今年は凍霜害等自然災害が発生しているが、被害を最小限にとどめていきたい。生産費の上昇については、引き続き圧縮に努めるとともに、価格への反映は非

常に難しい課題であるが、関係者全員で力をあわせて成し遂げて参りたい。こうしたなかで、J A全農長野は本年度生産販売部の取扱目標を1、564億円とした。目標達成のため、

安全安心で新鮮な信州ブランドをさらに確立し、主要卸売会社の皆様とも連携しながら販売力の強化につとめて参りたい」と述べました。関副知事からは「高品質で安定した園芸作物の供給に努めていく。天候不順の影響がある

が、関係者一丸となつて長野県の農産物を守つていきたい。卸売会社の皆様にはぜひ販売面でのご支援を賜りたい。4月の軽井沢でのG7外務大臣会合で長野県の農産物を提供し、非常に喜んでいただいた。こうした活動をとおして、これからもしっかりと長野県の農産物を広めていきたい。特にブドウ新品種クイーンルージュ®については、今年もしっかりとPRしていきたい」と来賓挨拶がありました。

会議では、全農長野から今年度の取扱計画や生産販売の重点方針の説明、長野県農政部から長野県農政の展開方

向について、また卸売会社の代表3社より、各テーマに沿った提言がありました。

東京青果(株)の川田一光会長からは『物流(2024年問題) およびコスト上昇に対する卸売会社の考え方・進め方』について、「大田市場ではEパークの導入により物流の効率化を図っており、効果が出ている。出荷側も運送会社の管理等協力願いたい。コスト上昇への対応としては、全農全国本部と一緒に卸売会社協会として、スーパー側に対して価格転嫁の要請文を今月中に提出する。一方でエガリム法的な考え方、大規模資本が入りやすくなるという側面があり、日本農業の特性と

とだけ折り合いがつかいがポイントである」と提言がありました。(株)R&Cながの青果の倉崎浩社長からは『青果物の価格転嫁に向けた卸売会社の取り組み』について、「価格転嫁はコストプッシュでは難しい。解決策は、サプライチェーンがひとつのチームになり、付加価値をつけたうえで、マーケットが納得できる価格をつ

けること。しっかりと価値のわかるお客と組んで、一緒になって付加価値をつけていく。産地側では、口スを少なくし上位等級比率を上げ、生産現場の無駄をなくしていくことも必要」と提言されました。

(株)なにわ花いちばの大西常裕社長からは『花きの流通・消費の変化』について、「コロナの3年間において、当初は卒業式、結婚式、イベント等の延期やキャンセルにより花の需要が低迷した。一方で、家での時間が増え、サブスクやユニクロ等、新たな販売チャネルの拡がりにより需要が多様化している。また、花は専売取引率が高いが、直前に決まっているのが実態。そのタイミングを少しでも早くしていきたい」と提言がありました。

今回の会議は、新型コロナウイルスが5類へ移行するなか、引き続き感染防止対策も行いながら、盛大に開催することができました。ポストコロナ時代にあっても、実際に顔と顔を直接向き合わせることの重要性を、再認識することができました。

※フランスの法律で正式名称は「農業及び食料分野における商業関係の均衡並びに健康で持続可能で誰もがアクセスできる食料のための法律」

新幹線でシャクヤクを輸送出荷当日店頭

JA全農長野東京販売事務所と北信事業所生産販売課は5月18日(木)、JA中野市の協力により、JR東日本グループと連携して新幹線による花き輸送・販売を行いました。これは、旬を迎え、収穫したばかりの鮮度の高いシャクヤクを、新鮮なうちに首都圏まで運び、生花店で販売する取り組みです。新幹線による輸送は、駅ビル構内

北陸新幹線「あさま612号」でJR東京駅に届けられました。その後、生花店「フルーラージュアン」の5店舗(新宿、有楽町、立川、大宮、横浜の駅ビルルミネ内)に「新幹線で今日届きました!」というポスターとともに並び、「長野県産シャクヤクフェア」として販売されました。

にある生花店に届ける時間を短縮することができると同時に、産地直送・鮮度感という付加価値をアピールした販売ができます。

店頭では職員が販売の応援に立ち「長野県はシャクヤクの生産量日本一」「これから出荷最盛期を迎えます」と紹介すると、大勢のお客様が足を止めました。

当日は、販売用のシャクヤク1,000本がダンボール20箱に詰められ、JR東日本の貨物輸送サービス「はこピュン」を活用し、午前9時26分発の

この様子は県内のテレビや新聞でも取り上げられ、長野県の旬の花と、花の輸送や鮮度に関心を持っていただくきっかけとなりました。



シャクヤクのダンボール箱を新幹線に搬入



東京駅に運ばれるシャクヤク



店頭でシャクヤクの説明をする職員

JAタウンアワード2022 全農長野がシヨップアワード1位

JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」の「JAタウンアワード2022」が5月19日(金)に発表され、JA全農長野が運営する「全農長野 僕はおいしい応援団」が「シヨップアワード」で1位を受賞しました。

「JAタウンアワード」とは、JAタウンに出店する全120シヨップの中から、2022年4月～2023

年3月までの売上・出品数・お客様満足度など、総合的な評価の「シヨップアワード」と、「果実」「野菜」「お肉」「お米」「農産加工品」の5つの各部門において最も優秀であった「商品・規格」に与えられる「商品アワード」があります。



コロナ禍で他県シヨップもインターネット通販に力を入れている中での受賞となりました。これもひとえに魅力ある信州産の農畜産物・加工品を出品いただいている生産者の皆様・各JA・出店企業・関係各所の日頃のご協力とお力添えのおかげであり、それをご愛用・ご支持いただいた消費者の皆様のおかげです。

長野県では、7月中旬からのスイカ、7月下旬からのモモなど、旬の果物の出品が続々と始まります。今後も、長野県産のおいしい農畜産物・加工品を買うならJAタウン「全農長野 僕はおいしい応援団」と言っていただけるECサイトを目指します。



受賞を喜ぶ担当者

▼▼野菜きのご課

ファミリーマートでコラボ商品「カットレタス」を販売

(株)ファミリーマートはJA全農長野野菜きのご課とのコラボ商品「長野県産高原レタスを使ったレタスミックス」を6月中旬から7月末に販売しています。

この商品に使用する原体(レタス、サニーレタス、リーフレタス)は、全量をJA長野県グループが供給し、これまで「国産」表示だったところを「長野県産」とはつきりした産地名に表記を変更しております。これにより、安全安心の観点からも消費者ニーズが高まると同時に、全国に向け長野県産ブランドイメージの認知向上を図っております。

また、今回のコラボ企画の「カットレタス」は、業界として伸長が見込まれるコンビニエンスストアをターゲットに夏場の安定生産・安定消費につなげるよう新しい方法のひとつとして、取り組んでいます。

全農長野野菜きのご課では、引き続き消費拡大に向けた企画の立案、

投入を進め、魅力あるJA系統販売につなげて参ります。



※網掛けが販売エリア



▼▼総務広報課

出羽海部屋が 木曾合宿 県産農畜産物を贈呈

JA木曾とJA全農長野は、御嶽海関(木曾郡上松町出身)が所属する出羽海部屋の木曾合宿に県産農畜産物を贈りました。

21日(水)の歓迎式典の中で贈呈式があり、JA木曾の田屋万芳組合長と全農長野の高木昭彦副本部長が目録と農畜産物の力ご盛りを手渡しました。

贈呈したのは、JA木曾産の御嶽ふなしめじ、御嶽はくさいをはじめ、信州ポーク、えのきたけ、大粒なめこ、キャベツ、レタス、ズッキーニ、セルリー、アスパラ、ブロッコリー、スイカ、飲むヨーグルトの合計125kg。御嶽海関は「いつもありがとうございます。4年ぶりの木曾合宿で、皆さんの期待を背負って稽古し、名古屋場所では復活した御嶽海を見せたいと思います」と話しました。

25日(日)には子ども相撲が行われ、ミルメークとフリーズドライの信州野菜と豚肉の具だくさん味噌汁、信州力のシールを参加賞に提供しました。

(株)サラダクラブで 長野県産レタス出荷最盛期に合わせて 「カットレタス」増量企画を実施

JA全農長野営業課がレタスを供給している(株)サラダクラブは、カットレタスの増量企画を実施しています。

「カットレタス」はパッケージサラダの製造販売を行う同社が1999年から販売を始めた定番商品で、食べやすい大きさにカットしたレタスを、食べきりサイズでパツ

クしています。増量パックは6月14日(水)から7月14日(金)までの期間限定で、通常60gを40g増量し100gで販売されています。

また、期間中に本県産シャインマスカットが当たるキャンペーンも実施しています。対象商品の外装についているバーコードを切り取り、2枚一口で応募すると抽選で100名様に長野県産シャインマスカット2房が当たります。



今回発売する「増量カットレタス」

感謝企画を通じて、旬を迎えた長野県産のレタスをぜひご賞味ください。
全農長野営業課では、今後も各取引先と連携し、長野県産青果物の販売促進を提案・実施し、消費拡大に取り組んで参ります。



シャインマスカットプレゼントキャンペーン



御嶽海関に目録を手渡す高木副本部長



(左から) JA 木曽 田屋組合長、御嶽海関、高崎親方、高木副本部長

農業機械課

「JA農機&資材フェスタ2023」 4年ぶりに開催

長野県農協生産資材事業推進協議会
(事務局／JA全農長野農業機械課)

は7月14日(金)と15日(土)の両日、長野市
エムウェーブで「JA農機&資材フェ
スタ2023」を開催します。

農機メーカー、生産資材メーカーな
ど50社以上に出展いただき、農業機械
の展示即売はもちろん、肥料、農薬、
農業資材まで幅広い情報を発信します。

農業機械コーナーでは、約30社の
メーカーが集結し、普段は見られない
大型機械や最新・省力化機械等を展示
するほか、直進アシスト機・ドローン・
ラジコン草刈機・営農支援システムな
ど多数を出品予定です。

注目ポイント

1. 屋外特設会場では、ラジコン草刈機、
オートモア実演会、乗用モア体験会
を実施します。

2. スマート農業特設ブースでは、機
械を見るだけでは伝わらない各種
データの活用方法やDX化、効率的
な営農について、動画や実例等を用

いて、各社の技術をPRします。

3. 生産資材コーナーでは約20社が出
展し、施肥・防除等に関する様々な
ご相談を承ります。

4. 生産者1万人以上の声を反映した
「共同購入トラクタSL33L」と
JA農機担当者が現場の声から厳選
した「JA長野県推奨型式」を
展示します。

5. 来春発売予定の「4条刈・50
馬力クラス 共同購入コンバイン」
の取り組みを紹介します。

6. 会場で20万円以上のご成約で
もれなく成約記念品をプレゼン
トします。

このほか、生活事業、キッズコー
ナー、農産物直売コーナー、キッ
チンカー、スタンプラリーと、ご
家族でお楽しみいただけるイベン
トが盛りだくさんです。
皆様のご来場をお待ちしており
ます。

- 日時 7月14日(金)
9:00~16:00
15日(土)
9:00~15:00
- 会場 長野市オリンピック記念
アリーナ エムウェーブ
(長野市大字北長池195)
- 主催 長野県農協生産資材事業
推進協議会
- 入場料 無料
※裏表紙もご覧ください

各コーナー紹介

注目 農業機械が大集合!!

今年も農業の効率化と高品質な作物を支えているメーカー約30社が集結。普段は見る事ができない各社の大型機械から専門機械、便利な小型農機まで会場いっぱい勢ぞろい!

注目 農業用ドローン展示!

ドローンを使った様々な農業の活用方法や、最新のドローンを紹介。

注目 生産コスト低減にむけた取組

▶ 全国生産者の声を反映した「33馬力・共同購入トラクタ」やJA農機担当者が現場の声から厳選した「JA長野県推奨型式」を展示予定
▶ 来春発売予定の「4条刈・50馬力クラス 共同購入コンバイン」の取組紹介
▶ 大型規格農薬や、さらに価格メリットの高い扱いやすい手回し規格をご紹介
▶ 土壌診断事業やニーズに沿った肥料のご提案

注目 生産資材関連ブース

施肥から防除までニーズに沿ってご提案します。JAファームも出店します。

注目 中古機掘出物コーナー

お手頃な中古機や実演機など、現物限りで出品します。

注目 スマート農業関連の展示

進化を続ける様々なスマート技術や、各社ブースにて紹介します。

お楽しみイベント開催 ご家族で、お子様連れのお客さまも是非ご来場ください

キッチンカー大集合!!

多彩なメニューからお選びいただけます。

スタンプラリー開催!!

会場内すべてのスタンプを集めて、プレゼントをゲットしよう!!
全てのスタンプを揃えた方には数量限定「なめたけ」プレゼント!!

ご成約者に記念品プレゼント!!

20万円以上のご成約で、もれなくご成約記念品をプレゼント!!
さらに、200万円以上のご成約者様にはもっとビッグなプレゼント!!
※当日ご本人様によるお引換限定企画となります。

キッズコーナー!!

ステキにデコレーションしてオリジナルグッズを手にしよう!!
参加条件: お子様1回限り「うちわor(スティックライト)どちらかを着けてください」

※このチラシに掲載中の情報は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。写真はすべてイメージです。



前回(2019年)の様子

果実花き課からのお知らせ

「第53回信州フラワーショー サマーセレクション」のご案内

長野県が全国一の生産量を誇るカーネーション、トルコギキョウ、アルストロメリアをはじめ、キク、スターチス、グラジオラス、ダリア、ユリ、花木類など約400点が県内から出品され、品質や栽培技術を競います。

大勢の皆様のご来場をお待ちしております。

- 開催日 7月20日(木)～21日(金)
- 一般公開 7月20日(木) 15:00～18:00
7月21日(金) 9:00～14:00
(11時～褒賞授与式)

- 会場 JA長野県ビル「アクティーホール」

- 実施内容(予定)

- (1) 品評会(切花、花木) (2) 展示

- ① フラワーアレンジメント

- ② 種苗会社による品目・品種紹介 ③ 花き関連資材

- (3) 花の販売

- ① 品評会出品展示品／一般公開時に予約販売を行います。ご予約いただいた花は、一般公開終了後の21日(金)午後2時よりお渡しします(午後3時まで)

- ② 信州産の花を使った花束・アレンジ等／一般公開時に花束・アレンジメント等を即売します。

※内容等は予告なく変更となる場合がございます。



昨年の様子

野菜きのこ課からのお知らせ

長野県産野菜ときのこアンケート キャンペーン第2弾

本誌5月号で紹介した「長野県産野菜ときのこアンケートキャンペーン」第2弾が始まります。第2弾では、「夏休みは子どもと一緒に作ろう! 食べよう!」と呼びかけ、「たっぷり夏野菜ときのこのチーズダッカルビ」のレシピを提案します。

アンケート商品はシャインマスカット2房を抽選で100名様にプレゼントします。

応募期間は7月1日(土)～8月31日(木) 当日消印有効。

詳しくは「長野県産野菜ときのこキャンペーン」で検索*してください。

* 第2弾の詳細は7月1日公開です。



新採用職員紹介

令和5年度の新採用職員を順次ご紹介します

生活部

SS協同経営課

さきた みずき
先田 瑞樹



ガソスタ知識、習得中です！

はじめまして、生活部SS協同経営課の先田瑞樹と申します。
出身は長野市です。祖母の家が米農家だったこともあり幼少期は稲作を手伝い、農業に親しみをもっております。大学時代は東京に住んでいたため、定期的に送ってもらったお米には本当に助けられました。

趣味は旅行で、青春18きっぷなどを使いながら放浪し、47都道府県すべてに行きました。

仕事は経理業務や危険物、ガソリンスタンドの知識など、覚えることは多々ありますが、一日でも早く皆様のお役に立てよう精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

生活部

生活課

まつだ かずき
松田 一輝



エーコープマーク品、勉強中です！

初めまして、生活部生活課の松田一輝と申します。

出身は神奈川県川崎市です。県外出身ですが信州のおいしい農産物や豊かな自然、多彩な地域色に惹かれて移住を決めました。趣味は温泉やおいしい食べ物を巡る旅行と、学生時代から続けている水泳です。

仕事面でも生活面でもまだ不慣れなことが多いですが、謙虚な気持ちを忘れずたくさんの経験を積みたいと考えています。少しでも組合員の方の一助となれるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。

東信事業所

野辺山駐在所

よこや まさひろ
横谷 雅大



圃場巡回中

野辺山駐在所の横谷です。

出身は長野市です。

趣味は筋トレ・日帰り旅行などで、特技はバドミントンと読図（大学は地理学専攻）です。

野辺山駐在所のある南佐久は圃場規模が大きく、農協をはじめ様々な方々と関わる機会が多くあります。また全農長野の主力産地でもあるため仕事の重責を感じています。野辺山駐在所は様々なことが学べる絶好の機会だと思います。

日々の業務では積極性を大切にし、真摯に取り組みます。よろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況

令和5年度5月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		0	0	0
野菜種苗センター		55	85	99
生産振興部計		55	85	75
米	穀	2,030	97	109
果実花き		984	132	108
野菜きのこ		5,860	105	113
営業		1,015	96	108
生産販売部計		9,888	104	111
包装資材		1,054	118	138
生産資材		2,406	102	89
農業機械		1,168	100	95
施設住宅		709	253	49
生産購買部計		5,338	113	87
畜産酪農		4,778	99	100
三岳牧場		61	148	141
SPF繁殖センター		45	88	86
ハケ岳牧場		41	100	119
畜産酪農部計		4,925	99	100
燃料・ホームエネルギー		4,102	100	96
SS協同経営		1,300	115	100
生活		1,533	108	100
生活部計		6,934	104	98
長野県本部計		27,141	105	100

(内部販売高含む)

7月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7/26(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	畜産酪農課

今月のおすすめレシピ

信州野菜ときのこ
アンケートキャンペーン第2弾レシピ

食パンで作る しゃっきり野菜のサラダピザ



■材料(1人分)

- ・食パン(6枚切).....1枚
- ・オリーブオイル.....小さじ2
- ・ピザソース.....大さじ1
- ・ブロッコリー.....20g
- ・きのこ.....15g
- ・シュレッドチーズ.....40g
- ・レタス、白菜、ズッキーニ.....各10g
- ・ツナ.....15g
- ・好みのドレッシング.....小さじ2

- ①ブロッコリーは一口大に切り、ラップをして600Wのレンジで20秒加熱する。きのこは小房に分ける。レタスは一口大にちぎり、白菜は千切り、ズッキーニはスライサーでスライスする。
※水にさらしておくとシャキッとより美味しくなります。
- ②食パンをめん棒で薄く伸ばす。
※めん棒が無い場合はラップで挟み、上から押さえて薄くします。
- ③②にオリーブオイルとピザソースを全体に塗り、ブロッコリー、きのこ、チーズをのせる。チーズが溶けるまでトースターで5～6分焼き、取り出す。
- ④しっかり水気をきったレタス、白菜、ズッキーニとツナをのせ、好みのドレッシングをかける。

編集後記

4月以降の断続的な低温で、県内各地で発生した凍霜害の被害額が計23億3,200万円に上り、記憶に新しい令和3年の20億3,100万円を超える大きな被害となっています。

凍霜害が発生した年の日本経済の状況を振り返ると、令和3年はコロナ禍が継続する中においても、前年からの反動増、東京オリンピック開催など内需拡大により、日経平均終値28,791円、為替1ドル115円と比較的安定していました。さらに遡れば平成25年凍霜害被害は35億6300万円の被害が発生しています。当時の日経平均終値16,291円、為替1ドル105円、苦しくもアベノミクス2年目。インフレターゲット消費者物価上昇率2%はこの時に設定されています。

さて、今日は2022年世界的な金融引締め等により、海外経済の景気減速を背景に国内インフレターゲットは達成し、更に2023春闘では平均賃上げ率が3.69%と30年ぶりの高さとなり、日経平均終値33,264円(R5.6.23)と33年ぶりの高値、為替1ドル141.8円(R5.6.23)の円安であり、デフレ脱却を果たしたかに見えます。農畜産物の価格は、需給バランスで成り立っていることから、その時々々の経済環境と、農産物凍霜害被害は価格にどのように影響し、生産者の農業経営に影響するのか、必ずしも比例しません。ただ、「農業の収入が不安定」といわれること、経営リスクに常に晒されている弱者であることに変わりなく、「協同の力」は大変重要なのだと考えます。

(一)

24th JA 農機&資材 フェスタ 2023

どなたでも
入場無料

4年ぶりの開催!! ～進化を続ける農業機械～

7月14日 金

AM9:00～PM4:00

7月15日 土

AM9:00～PM3:00

開催場所
エムウェーブ
(長野市オリンピック記念アリーナ)

ご来場者プレゼント!
(数量限定)



県内産農産物
直売コーナー開設!!

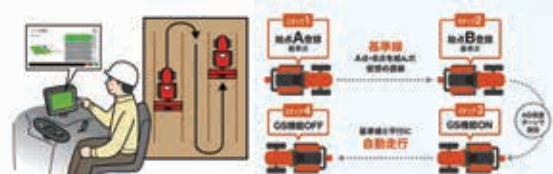
紹介

スマート農業コーナー

大型モニターにて「先端技術」を活用
した各社のスマート農業をご提案!!

時間: 13:00～

場所: 会場内特設ブース



実演

ラジコン草刈機
オートモア実演

進化する草刈関連機械を体感下さい!!

時間: ①10:30～

②14:00～

場所: 会場北側会場



体験

乗用モア体験会

作業や圃場にあった
モアをご確認下さい!!

時間: ①10:00～

②13:30～

場所: 会場北側会場



●主 催 長野県農協生産資材事業推進協議会

●後 援 長野県・JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>

